

## 令和5年度東京都立総合工科高等学校（全日制課程）学校経営計画

### 1 目指す学校像

#### (1) 学校の教育目標

**創 造 (Create) :** 実験・実習などの体験的学習を通して、科学技術やものづくりの不思議さや面白さを体感し、広い視野から自然や社会とのつながりの中で考える力を育成する。

**探 求 (Career) :** 個性を伸ばし、自己について探求し、自己の進路を切り拓くことのできる自己実現力を身に付けさせ、将来のスペシャリストを育成する。

**協 同 (Cooperate) :** 心身健やかであり、特別活動やボランティア活動などの諸活動を通して、規範意識を持ち、他者と協調し、国際社会に貢献できる豊かな人間性を育成する。

#### (2) 目指す学校像

学校の教育目標を達成するために、教職員が一致団結し、「面倒見のよい総工」を意識した学校経営と経営参画を行うことによって、次に示す学校像の実現をめざす。

- ①自然科学に興味を持ち理工系大学進学を目指して本校で工業技術の基礎・基本を学んだ後、更に上級学校で知識・技術を高めて、将来日本の工業界を支える技術者としての人材を育成する学校
- ②好奇心をもって主体的に取り組み、ものづくりの楽しさを実感しながら「考える力」「学び続ける力」「協働する力」のヒューマンスキルを育成する学校
- ③国際化、情報化など大きく変化する社会に対応して、将来国際社会で活躍することができる技術者を育成する学校
- ④教職員が一丸となった生活指導を行うことによって、規律ある生徒を育成する学校

#### (3) 令和5年度学校経営の重点

##### 「面倒見のよい総工」ブランドの確立

～一人でも多くの生徒を進級・卒業させる～

- ① 厳しさのなかに「折れない心・諦めない心」を育成する親身な指導と温かい評価
- ② 大学進学にも就職にも強い進路保障

### 2 中期的目標と方策

#### (1) 大学進学を重視した工業系専門高校としてのコンセプトを継続する

- ア 大学進学に対応した教育活動を推進し、「大学進学率 50% (本校のミッション)」を追求する。またその取組みを広く中学校や地域に周知する。
- イ 相互授業参観や授業観察等を通して、ICT を活用し、生徒の主体的・対話的な深い学びを引き出す授業づくりを推進する。
- ウ 「課題解決型学習」(PBL) や「探究型学習」による課題研究の成果を、総合型選抜入試(AO入試)や学校推薦型選抜(公募制)などの大学進学に積極的に活用する。
- エ 教務部広報担当を軸に全教員での学校説明会、中学校訪問を実施し、さらにホームページやTwitterの更新など募集・広報活動を積極的に行うことで、中学校の生徒や教職員、地域や都民の方々へ本校の教育内容や工業科の魅力を配信する。

#### (2) 部活動を核として特別活動を充実させ、活気ある学校づくりを推進する

- ア 本校の恵まれた校地や施設・設備を活用した、魅力ある部活動を推進する。
- イ スポーツや工業分野において卓越した能力をもつ生徒の個性を一層伸ばさせ、本校の特色化を推進するために、文化・スポーツ等特別推薦を実施する。
- ウ 学校行事を活性化させ、本校生徒としての自覚と誇りを涵養し、生徒の健全育成を推進する。

#### (3) 工業系専門高校としての特色ある教育活動を充実させる

- ア 企業、高等教育機関等の連携を推進し、常に新しい知識や技術に興味関心を高める教育活動を充実させる。

イ 将来国際社会で活躍する技術者育成のため、国際理解教育を充実させ、海外の技術進歩を意識させる技術教育を推進する。

ウ 産業界における技術革新やDXの推進に対応できる人材の素地を育成する。

エ 電気自動車、蓄電技術、コンピュータ解析技術、ドローン技術など先端技術分野の学習をとおして、創造的な活動の楽しさを学ぶことで学習意欲を向上させる。

オ 「Next Kogyo START Project」による工業高校改革を全教職員で推進する。

(4) 「面倒見のよい総工」ブランドを確立し、募集倍率の向上につなげる。

ア 全教職員が共通理解のもとに一致団結し、授業規律を確立させる。

イ 頭髪・服装指導を徹底し、規範意識を醸成することで特別指導件数を減少させる。

ウ 生徒を最後まで粘り強く親身に指導し、一人でも多くの生徒を進級・卒業させる。

エ 大学進学にも就職にも強い進路保障を実現する。

### 3 今年度の取組目標と方策

#### (1) 学習活動

目標：大学進学を重視する学力向上策の推進		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① 「総工学カスタンダード」に基づいた学習指導の推進【1-1】	各教科主任 全教員	・学力調査達成率（目標値達成科目数／調査科目数）77%以上
② 課題の複線化を図り、成績上位層を伸ばす授業の充実【1-2】	各教科	・成績優秀者（4.3以上） 各学年30%以上
③ スローラナーに対するきめ細かい学習指導【1-3】	全教員 各教科主任	・朝学習（朝から開始の行事日を除く毎日） ・基礎学習会（年5回）
④ 【1-4】「課題解決型学習」（PBL）や「探究型学習」による課題研究の充実（総合型選抜入試に対応できる研究内容）	工業科	・研究成果発表会（各科1回） ・下級生への発表会（各科1回）
⑤ 大学進学を支援する取組みの推進【1-5】	教務部 進路指導部 全教職員	・進学対象補習 適宜 ・長期休業中の補習・補講 40 講座 受講生徒 400 名 ・放課後自習スペースの開放 毎日 ・土曜日の学習サポート 20 回
⑥ 授業力向上のための授業参観の実施【1-6】	教務部 全教員	・若手教員育成研修、中堅教諭資質向上研修等の授業研究を活用した授業参観 ・教科内での授業研究年2回以上。教科を越えた授業参観年1回以上 ・他校の指導教員の授業見学
⑦ 生徒の主体的・対話的で深い学びの視点での授業の推進【1-7】	全教員	・ICTの活用と主体的・対話的で深い学びの視点での授業観察 年2回
⑧ 放課後や長期休業日を活用した資格取得講座の実施【1-8】	工業科	・資格・検定合格者 150名以上
⑨ 英語技能検定、数学技能検定、漢字能力検定への取組みの推進【1-9】	関係3教科	・検定合格者 合計25名以上
⑩ 各種コンテスト、コンクール、大会などへの生徒参加の促進【1-10】	各教科	・コンテスト等参加団体 10以上
⑪ 読書活動の推進【1-11】	教務部 国語科	・未読率0% ・書評合戦の活用
⑫ 主権者教育の推進【1-12】	地歴公民科	・有権者生徒の投票率 70%以上
⑬ 道德教育の推進【1-13】	全教職員	・校内研修 1回以上

(2) 生活指導

目標：組織的な生活指導による規律ある生徒の育成		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① 「生活指導規定」に基づく指導の徹底【2-1】	生活指導部 全教職員	・特別指導件数 5 件以内（昨年度 4 件） ・皆勤、精勤 各学年 50%以上
② 服装・頭髪・挨拶・言葉遣い・マナー等の遵守【2-2】	生活指導部 全教職員	・異装：0 ・茶髪、ピアス：0
③ 校内美化の徹底【2-3】	生活指導部	・特別清掃 8回
④ HR等を活用した交通安全指導（特に自転車）の徹底【2-4】	生活指導部 全教職員	・交通安全教室 2回 ・重大事故 0件
⑤ 情報モラル指導の充実【2-5】	生活指導部	・ネット、ケータイ安全講座 1回
⑥ いじめ総合対策に基づいた組織的な対応【2-6】	生活指導部	・いじめ状況調査（年 3 回以上） ・いじめ、不登校による中途退学 0 人
⑦ 体罰、不適切な指導の根絶【2-7】	全教職員	・体罰 0 件、暴言 0 件 ・校内研修 3回
⑧ 特別支援教育への対応【2-8】	担任 特別支援コーディネーター 養護教諭	・ケース会議・情報交換会 ・SC との連携 ・外部機関との連携
⑨ 全教職員が一丸となった授業規律の確立【2-9】	全教職員	・チャイム始業の徹底 ・スマホ使用：0 ・巡回指導の実施（適宜）

(3) 進路活動

目標：キャリア教育の充実による大学進学率 40%の実現		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① 大学進学に向けたキャリア教育の充実【3-1】	進路指導部	・大学進学率 40% ・1・2 学年の大学進学希望者 50%
② 学力診断テスト等を活用した進学指導の推進【3-2】	各教科 進路指導部	・学習到達ゾーン C 段階以上 50% ・学力向上推進委員会 年 8 回
③ 生徒の適性を踏まえた就職指導の充実【3-3】	進路指導部 全教職員	・就職希望者の内定率 100% ・公務員試験対策指導 8回
④ 入学から卒業までを俯瞰した進路指導体制の確立【3-4】	進路指導部 学力向上委員会	・「進路の手引き」の活用 ・朝学習の実施
⑤ 大学との連携事業の推進【3-5】	進路指導部	・大学模擬授業 1回 ・大学見学会 1回
⑥ 「人間と社会」の体験活動として全員インターンシップの実施【3-6】	キャリア教育委員会	・企業等新規開拓 20 社以上 ・全教職員による巡回指導

(4) 特別活動・部活動

目標：国際理解教育の充実と活気あふれる学校づくり		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① 「国際理解教育」「学校 2020 レガシー教育」の推進【4-1】	教務部 体育科 該当学年	・姉妹校との国際交流 2回以上 ・授業内での意識の向上

② 「部活動に係る活動方針」に基づく部活動の推進【4-2】	生活指導部 各部活動	・部活動加入率 70%以上 ・HP等への活動報告 月1回
③ 中学校や地域と連携した部活動の推進【4-3】	教務部 各部活動	・部活動体験入部 8回
④ 文化・スポーツ等特別推薦の検証と改善【4-4】	教務部 該当部活動	・文化・スポーツ等特別推薦倍率 1.2倍以上
⑤ 学校行事の活性（すばる祭、総工祭等）【4-5】	生活指導部	・生徒の満足度 80%以上 ・総工祭来校者数 1500人以上
⑥ 礼節や愛校心・帰属意識の涵養【4-6】	生活指導部 全教職員	・礼法指導の実施 ・校歌指導の実施（行事ごと）

(5) 健康・安全

目標：健康づくりと防災・安全指導の推進		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① 安全指導の推進【5-1】	生活指導部	・安全指導に関する研修 3回
② 生徒の健康づくりの推進【5-2】	生活指導部	・健康指導 1回以上
③ 「アクトプラン to 2020」に基づく体力向上の取組みの推進【5-3】	保健体育科	・体力テスト都、全国の平均値以上
④ いじめ・自殺防止に重点を置いた生徒相談体制の充実【5-4】	生活指導部 担任	・新入生のSC全員面接 1回 ・特別指導時のSCの活用（毎回） ・いじめ状況調査に基づいた面談
⑤ 食育教育の充実【5-5】	食育リーダー	・「食育推進」の実施
⑥ 学習環境の整備と計画的な維持・管理【5-6】	経営企画室	・生徒の安全に係る施設・設備の点検 3回
⑦ 関係機関や地域と連携した防災訓練の実施【5-7】	生活指導部	・防災体制マニュアルの改訂 ・関係機関、地域と連携した防災訓練 1回 ・防災活動支援隊の編成

(6) 募集・広報活動

目標：募集対策の充実と開かれた学校づくり		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① 応募倍率の向上【6-1】	教務部 (広報担当)	・推薦応募倍率 1.5倍 ・学力検査応募倍率 1.2倍
② 中学校と連携した広報活動の推進【6-2】	教務部 (広報担当) 全教員	・中3生徒対象「SOKO PRESS」配布年3回120校以上 ・中学校訪問 160校以上（1人3校以上）
③ 地域交流の推進【6-3】	工業科	・工作スタジオ等の参加 40名 ・近隣小学校の社会科見学 1回
④ ホームページの刷新とTwitterでの情報発信の充実【6-4】	教務部	・ホームページ・Twitter更新300回以上 ・学校案内一部改訂
⑤ 保護者宛て配布物のWeb化【6-5】	分掌主任 学年主任	・学年通信、分掌通信等、毎号
⑥ 「生徒の姿が見える」学校PRの推進【6-6】	教務部（広報担当）	・「生徒の姿が見える」学校見学会・説明会 6回
⑦ 「中学生目線」の授業公開【6-7】	教務部	・授業公開 2回

(7) 学校経営・組織体制

目標：「面倒見のよい総工」ブランドの確立		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① ミドルマネジメントによる戦略的な学校経営の推進【7-1】	主幹教諭 主任教諭	・経営会議による課題対応 月1回
② OJT 診断基準、執務ガイドラインを活用した人材育成の推進【7-2】	主幹・主任教諭 中堅教員	・主任教諭育成実践プログラム3回（全定協働） ・自己申告時に点検 年3回
③ FINE-SYSTEM を活用した学力向上策の推進【7-3】	学力向上推進委員会	・学力向上推進委員会 年8回
④ 情報セキュリティにかかわる規定の改訂、厳守【7-4】	教務部 経営企画室 全教職員	・個人情報紛失事故0件 ・クリーンデスクの徹底
⑤ 経営参画ガイドラインに基づいた経営企画室の経営参画【7-5】	経営企画室	・校内手続きマニュアル整備・改訂 ・自律経営予算の執行率60%
⑥ 経営企画室の確実な執務執行【7-6】	経営企画室	・現物照合リストの整備・更新 ・学校徴収金の適正執行 ・文書保存の一元化 ・会計事故0件
⑦ 全・定の学校運営連携の推進【7-7】	経営企画室	・全・定連絡会3回
⑧ 自己申告目標を通じた学校経営計画の具現化【7-8】	全教職員	・学校経営計画との関連を明確にした自己申告面接 年3回
⑨ 服務事故を「しない・させない・許さない」職場づくり【7-9】	全教職員	・服務事故0件 ・校内研修年3回以上
⑩ 中途退学率の減少【7-10】	全教職員	・中途退学率 1.5%以内
⑪ ライフ・ワーク・バランスの実現【7-11】	全教職員	・各種会議 45分以内 ・閉庁日 年5日 ・月80時間以上の超過勤務 5%以内 ・電子起案100%による業務効率化 ・育業を取得しやすい環境整備